

## 会場のご案内

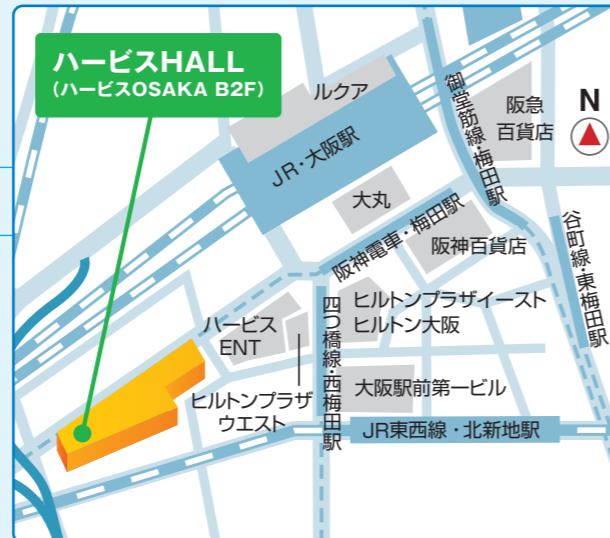
大阪会場

2019 **1/26** (土) 12:55 ~ 17:20 (受付 12:00 ~)

**ハービスHALL** (ハービスOSAKA B2F)  
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA B2F

### アクセス

- 阪神梅田駅(西改札)より徒歩6分
- 地下鉄四つ橋線西梅田駅(北改札)より徒歩6分
- JR大阪駅桜橋口より徒歩7分
- JR東西線北新地駅(西改札)より徒歩10分
- 地下鉄御堂筋線梅田駅(南改札)より徒歩10分
- 地下鉄谷町線東梅田駅(北改札)より徒歩10分



### 対象

**学校の教員、教育委員会および自治体の職員**

※定員になり次第、受付終了とさせていただきます。

### 主催

一般社団法人日本教育情報化振興会

### 共催

日本教育工学協会

### 後援 (予定)

文部科学省、総務省、経済産業省、大阪府教育委員会、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、滋賀県教育委員会、大阪市教育委員会

### 協力

Sky株式会社

## 詳細・お申し込み

下記のWebページからお申し込みいただけます。または『参加申込書』にご記入の上、FAXでお申し込みください。

**<https://www.sky-school-ict.net/>**

### お問い合わせ先

「学校とICTフォーラム」事務局 (Sky株式会社内)

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3丁目4番30号 ニッセイ新大阪ビル20F

TEL: 06-4807-6374 FAX: 06-4807-6376 E-mail: seminar@sky-school-ict.net

※一般社団法人日本教育情報化振興会は、本セミナーの協力企業であるSky株式会社にセミナー事務局を委託しています。

# 学校とICT フォーラム **大阪**

2020へ向けて

教育の情報化における  
**現状の課題への対策**



新学習指導要領

プログラミング教育

授業改善



プレゼン力育成

カリキュラムマネジメント



タブレット端末活用

働き方改革

情報セキュリティ

### 日程

2019 **1/26** (土) 12:55 ~ 17:20 (受付 12:00 ~)

### 場所

**ハービスHALL** (ハービスOSAKA B2F)

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA B2F

**参加無料**

# 学校とICTフォーラム

大阪

2020へ向けて

教育の情報化における  
現状の課題への対策

2020年度から順次全面実施される新学習指導要領——。情報活用能力（プログラミング的思考やICTを活用する力を含む）は、言語能力や問題発見・解決能力と同様に学習の基盤となる資質・能力と位置づけられ、その育成のためにICTを活用した学習活動の充実が求められています。「主体的・対話的で深い学び」に向けて、ICT活用の視点も踏まえ、授業改善、授業づくりのポイントを考えます。

また、「授業改善」「情報教育」「タブレット端末活用」「小学校プログラミング教育」「教育の働き方改革」「教育情報セキュリティ対策」「子どもたちのSNS利用」「ICT活用と効果」などをテーマにした各セッションを通じて、教育情報化におけるさまざまな課題と最新動向をお伝えします。



中川 一史  
放送大学教授

プログラム 前半（Aコース、Bコース）、後半（Cコース、Dコース）それぞれ、どちらかのコースを選択してご参加いただきます。

12:00	受付開始		
12:55	開会挨拶	一般社団法人日本教育情報化振興会	
13:00～13:25	基調講演	新学習指導要領における情報活用能力 中川 一史（放送大学教授）	
13:25～14:10	Aコース		Bコース
	特別講演①	新学習指導要領と授業改革 ― 問われる教科の授業づくりと「知識」の意味 久野 弘幸（名古屋大学准教授）	特別講演② 学校における働き方改革の論点と課題 ― 中教審の審議と答申 小川 正人（放送大学教授）文部科学省中央教育審議会副会長、学校における働き方改革特別部会長
14:25～15:30	情報教育①	教科指導の中で情報活用能力をどのように育むか  新学習指導要領では、「情報活用能力」を「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけ、教科横断的に育成する旨が明記されています。各学校が設定する教育目標を実現するために、どのような教育課程を編成し、どのようにそれを実施していくのか。具体的な事例をもとに考えます。  コーディネータ 中川 一史（放送大学教授） 実践発表 岩崎 有朋（鳥取県・岩美町立岩美中学校教諭） 朝倉 一民（札幌市立屯田北小学校教諭）	講演 喫緊課題 ソーシャルメディアによる人間関係の構築と情報モラル ― ネットいじめやフェイクニュース問題への対処法 加納 寛子（山形大学准教授）  インターネット上の情報を信頼できるかと問われると、疑わしいと答える人であっても、意思決定や行動に影響を及ぼすことがあります。そのため、根も葉もない誹謗中傷に苦しみ、ネットいじめによる自殺が起きています。ネット時代の人間関係の構築と情報モラルについてお話しします。  教育情報セキュリティポリシーと学校のICT 高橋 邦夫（KUコンサルティング 代表）文部科学省「教育情報セキュリティ対策推進チーム」副主査、（元豊島区役所CISO（情報セキュリティ統括責任者）） 文部科学省の「教育情報セキュリティポリシーガイドライン」に対して、どこから手をつけるべきか、また今後の学校のICTはいかにあるべきか。ガイドライン策定と次世代学校のICT整備事業に関わっている担当者がそのポイントをお伝えします。
15:30～16:05	展示・体験（学習活動ソフトウェア体験コーナー、ICT教育環境整備コーナー）		
16:05～17:20	Cコース		Dコース
	情報教育②	小学校プログラミング教育の現状と展望 ■アンプラグド・プログラミングの学習活動のねらいと留意点 ■プログラミング的思考と教科の学び ■プログラミング教育実施に向けた準備の進め方  小学校プログラミング教育は、2020年度から本格実施となります。教科・領域のねらいと絡めるとどのような学習活動が実施できるか、そのために必要となるICTを含めた学習環境をどのように整えるか等、課題も多い。本セッションでは、それぞれの立場から課題に対する議論を深めていきます。  コーディネータ 佐藤 幸江（金沢星稜大学教授） 実践発表 佐和 伸明（千葉県・柏市立手賀東小学校校長） 曾根原 和明（東京都・板橋区立上板橋第四小学校教諭） 津下 哲也（岡山県・備前市立香登小学校教諭）	事例・実践報告 ICT活用と効果 生徒一人一台のコンピュータ環境の運用と今後の展望 道旗 宏悦（学校法人大阪初芝学園 初芝富田林中学校・高等学校教諭） 本校では2003年9月に全館無線LAN整備を実施し、その後、全教室への電子黒板の設置、全生徒一人一台のコンピュータ運用を行っています。それにかかる環境構築や課題、その解決手段、授業での活用状況、生徒の変容、今後の課題と展望等について発表します。  タブレットを指導用に活用する「堺スタイル」の整備の詳細と効果 浦 嘉太郎（大阪府・堺市教育委員会主任指導主事） 堺市では、児童生徒一人一台の情報端末整備の前段として平成25年度から、教員が授業改善を目的としてタブレット端末と大型デジタルテレビを組み合わせ活用する「堺スタイル」の整備と活用を進めており、今年度は全ての中学校に整備を行いました。この「堺スタイル」の整備手法とその効果、今後の展望についてお話しします。  校務の情報化に向けた取り組みについて 高橋 大輔（大阪府・枚方市教育委員会指導主事） 本市では平成27年度に校務支援システムの導入を行い、成績情報等の一元管理を行っています。また、平成29年度に総務省の「情報セキュリティの強化」に伴い、ネットワークの分離化を実施しました。現状及び今後の展望について発表します。